

3. 将来都市像

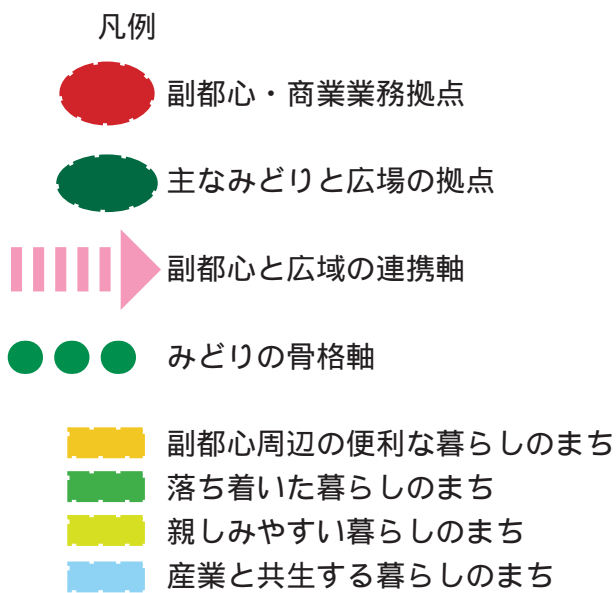
前述のまちづくりの目標を実現する、豊島区がめざす将来都市像は図のとおりです。

池袋駅とサンシャインシティ周辺の副都心は、鉄道などで東京都心や広域と結び、各駅周辺の商業業務拠点とともに、豊島区の活力を生み出します。定住の場となるのは、区の東部から中央にかけて

の要所ににぎわう商店街がある親しみやすい住宅地、西部や目白周辺に広がる戸建て住宅を中心にした落ち着いた住宅地、副都心周辺の便利な地区、南北部にある産業と共生する地区です。

幹線道路や鉄道が、内外の多くの人の移動や都市活動を担い、災害に強い安全・安心な都市の骨格となり、活力と定住の都市を支えます。そして新

将来都市像



しく生み出された公園や緑地とともに古くからある大学や社寺を生かしたみどりと広場の拠点は、緑道や街路などのネットワークで結ばれ、環境にやさしく、福祉のまちづくりやハートビル法、バリアフリーに関連する法律等に配慮したアメニティ豊かな都市づくりの推進とあいまって、住み続けられる都市を育みます。

各々の地区では、これらを基本に、まちの個性と特性に応じて、歴史・文化や景観の活用、身近な道路や緑化など住みよい環境づくり、防災まちづくりなど、住民と事業者、行政が協働でまちづくりがすすめられていきます。

